

2017年度 一般社団法人 宇治青年会議所

総務委員会 委員長方針

副理事長 関 智和
委員長 木本 裕章

宇治青年会議所は、創設以来、先輩諸兄のご尽力のもとで地域に根差した活動を行い、組織として社会的評価を獲得してまいりました。そうした過去から培ってきた伝統は、メンバーが積極的に青年会議所活動に参画するとともに、活動に込められた想いをメンバーが理解し、周囲の人に伝え、より多くの人びとの共感を得ることで継承していかなければなりません。

総務委員会は組織の運営面でなくてはならない委員会として、円滑な組織運営のためにその役割をメンバーがしっかり理解して行動できるよう努める必要があります。一方で、社会の価値観が見直され、課題解決の手法が多様化している現代において、組織の将来を見据え、新たな視点で多様な運営手法に挑戦することも私たちの責務であると考えます。

当委員会は、組織の基盤たる運営を行うために、総会等の各種会議において事前の資料作成、当日の会議進行、事後の記録管理を正確に行います。そして委員会運営においては、メンバーが各種会議や事業内容を情報共有するために、情報技術を駆使したシステムを積極的に試行し、今後の組織運営に活用できる手法がないか気づきと学びの機会とします。また、メンバーが茶道の文化に触れる機会を提供し、地域を代表する資源であるお茶文化の知識を深めます。さらにメンバーの活動意識を高揚させるために、メンバーの意見交換の重要な場である例会セレモニーを開催し、青年会議所活動への理解を深め更なる参加促進を図ります。同時に青年会議所活動の意義や想いを理解し継承するために、先輩諸兄との交流を通じてメンバーの活動意識の向上に繋げてまいります。そして、地域における宇治青年会議所の役割と責任を改めて認識するために、行政や他団体との交流を通じて地域課題に積極的に関与し、宇治青年会議所の存在意義を高めます。

私たちは、創設以来継承されてきた想いを受け継ぎながら、組織運営の要の委員会としてその役割を果たすと同時に、新たな発想を持って、目まぐるしく変わる時代に応じた活動をしてまいります。そのためにも、組織の基盤である総務委員会のメンバーには、率先して宇治青年会議所に対する理解を深めるとともに、積極的に地域と関わってまいります。そうした行動を通じてメンバーの信頼関係を高め、活動に邁進することで宇治青年会議所の社会的評価を更に高めるべく一年間活動してまいります。